

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：交通と環境	
日付：11月21日（土）曜日、セッション時間：10：45～12：15	
司会者名（所属）：林 良嗣（名古屋大学）	
討 議 内 容	<p>セッション全体： 今日、先進国の地域や自治体に求められている低炭素都市 / 交通システム構築のための研究が 2 件あった。1 つはシナリオの評価の方法論についてであり、重要な output である人口の立地移動などについての予測方法の組み込みが必要であることなどが議論された。もう 1 つは、congestion charge などの政策のレベルを求める最適化モデルシステムについての発表であったが、発表の大部分がフレームワークの考え方に費やされたため詳細な議論はできなかった。3 つ目の発表は、北海道における冬期の道路整備、それが走行に与える影響分析結果が示された。</p>
	<p>（139）森島 仁（日建設計総合研究所）： ・名古屋市を対象に建築物の CO2 環境性能評価システム CASBEE の都市計画への拡張に相当するシステムの提案があった。土地利用、クオリティオブライフ等との関係についての重要なコメントがあった。</p>
	<p>（140）X. Liang Pi（名古屋大学）： 交通と環境の問題の捉え方を、昨週末、名古屋大学で開催された WCTRS-SIG11 Nagoya Symposium “Transport and Climate Change”における Target Strategy Institution/Financing Mechanism の手順と結びつけて示された。最適化システムについて多段階で分解して Pricing のレベル。</p>
	<p>（141）佐々木 恵一（函館工業高等専門学校） 北海道の冬期の道路の走行状況についての詳細な分析が示された。これを用いた積雪寒冷地の道路整備のあり方と関連する、プローブカーによるデータ収集、整備による CO2 排出への応用などのコメントが出された。</p>